

# 「応用地形学研究小委員会(第三期)」

## 委員公募のお知らせ

### 研究企画委員会

標記研究小委員会の設立が理事会にて承認を受けましたので、会員の皆様に委員の公募を行います。以下の設立に関する事項をご理解の上、参加ご希望の方はお申し込みください。

なお、同様の公募資料は次号学会誌(第47巻第5号 2007年2月)に掲載予定です。

#### (設立趣意)

地形・地質情報の活用は、土木建築工事、構造物の維持管理、防災対策、環境保全等の多くの場面でコスト縮減に効果があるにもかかわらず、実務の上でそれを有効な情報に変換することはあまり行われていません。

このような背景から、応用地形学小委員会(第一次)(平成7年～平成10年度)、(第二次)(平成11年度～平成18年度)を設立し、地形から地下の岩盤情報を読み取ることが目的とした研究や、空中写真判読等を基にした地形表現と記載の方法に関する研究を行い、それら成果を書籍「山地の地形工学」、「応用地形セミナー 空中写真判読演習」として刊行するなど、若手～中堅技術者への啓発を中心とする活動を行ってきたところです。

以上のような活動の成果を踏まえ、地形工学の普及・啓発活動の対象として、これまでのような若手～中堅の専門技術者だけでなく、さらに広い分野の土木技術者や地域の防災・環境・風土に関心のある一般の方々への働きかけも必要であるとの観点から、研究企画委員会ではこれまでの応用地形学研究小委員会の活動を引き継ぐ第三次の研究小委員会を設立し、新たな研究に取り組むことを企画しました。

具体的な研究内容としては、これまでの活動の延長である地形表現や地形情報の記載法に関する研究、年1回の巡検、講習会の開催に加えて、地形情報および地形工学的知見を踏まえた技術が、いかに生活基盤の確保(生産および環境の維持など)に貢献してきたかについて、歴史的事例、現代の活用事例から抽出してまとめるとともに、その成果を一般の人の興味を引くわかりやすい形で提供し、社会貢献の一助とすることに焦点を当てていくことを計画しております。

活動の目標は次のとおりです。

#### 1) 巡検案内マップ(大人のための修学旅行)の作成

委員会のこれまで及び今後の巡検成果に基づいて、観光地図とは異なった地学・歴史・技術的視点から地形情報を盛り込んだ1枚の地図としてまとめ、専門家向けばかりでなく一般向けのガイドマップとして作成する。さらに自治体や教育関連機関の協力を得て、具体的な要望や課題を探り、成果を普及して社会貢献の一助とする。

#### 2) 応用地形学図のサンプル作成

技術的観点からみた地形情報について、特に具体的な事例が少ない山地に注目して、地形の定義と表現法を検討し、地形判読の凡例を試作する。この研究成果については、学会誌を通じて会員に提供し、討論をおこなう。

#### 3) 講習会

応用地形学の普及のため、これまで作成したテキストを用いて、地方での講習会にも積極的に取り組む。

#### 4) 定例会

年間4回程度の定例会で、各研究者の研究成果の話題提供を行い、さらに年1回の巡検を実施する。

つきましては、これら課題に関心のある方の委員会への参加を下記により募集いたします。

- 記 -

委員会名：応用地形学研究小委員会(第三期)

委員長候補：向山 栄(国際航業株)

委員予定数：約 20 名

委員会活動期間(予定)：平成 19 年度～平成 21 年度(3 年間)

申し込み方法：e-mail、Fax、郵送のいずれかによる

申し込み先：日本応用地質学会事務局内

「応用地形学研究小委員会(第三期)」設立準備会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14 御茶ノ水桜井ビル

e-mail [KYW04560@nifty.com](mailto:KYW04560@nifty.com) Fax 03-3259-8233

申し込み期限：平成 19 年 3 月 9 日(金)

以 上